

1 単元名 Unit3 Let's go to Italy.

2 本単元の目標

- (1) 行ってみたいおすすめの数国や地域と、その理由について、短い話を聞いてその概要を理解したり、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けることができる。 [知識及び技能]
- (2) 行ってみたいおすすめの数国や地域と、その理由を聞いたり、話したりして、その国や地域のよさ、自分の考えを伝え合うことができる。 [思考力、判断力、表現力等]
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、そのよさや自分の考えを基本的な表現で書いたり、話したりして、友達と交流しようとしている。 [学びに向かう力、人間性等]

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知① ～ is … . You can ～ . It's ～ . 及びその関連語句などについて理解している。 技① ～ is … . You can ～ . It's ～ . の表現を用いて、行ってみたいおすすめの数国や地域とその理由について、聞いたり、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けることができる。	思① 行ってみたいおすすめの数国や地域と、その理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、話したりして、その国や地域のよさや自分の考えを伝え合うことができる。	態① 行ってみたい国や地域のよさやそれについての自分の考えを相手に配慮しながら、基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。 態② 行ってみたいおすすめの数国や地域について調べることによって外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、外国語科の目標(2)「音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。」や(3)の「外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。」を受けて、行ってみたいおすすめの数国や地域をテーマに取り上げている。おすすめの数国や地域とその理由について、基本的な表現を用いて発表する場面を設定することで、児童は目的意識をもって、英語ではどう表現するのか、分かりやすく伝えるにはどうしたらよいかを考えながら、聞いたり、話したりすることができる。また、本教材で扱う動作や感情表現は簡単な語句のものが多く、プレゼンテーションソフトを基に発表を行うため、基本的な表現を用いて考えを伝え合うことに適している。と考える。

(2) 児童観

本学級の児童は、事前の意識調査で「外国語の学習は楽しいですか」という質問項目に対して、*人中*人の児童が、肯定的な回答をした。その理由として、「英語を覚えるのが楽しいから」、「上手に発表できた時、みんなにほめてもらえるから」、「友達と一緒に練習できるのが楽しいから」というものが多かった。友達とともに練習し、今まで知らなかったことを知り、できたことを認められることに魅力を感じていることが分かった。また、否定的な回答をした児童の理由としては、「英語が難しいから」、「英語を話せないから」、「発表するのが苦手だから」というものが挙がった。英語そのものに苦手意識を感じていたり、話したり、発表したりする相手に英語で伝えることを苦手と感じる児童がいることが分かった。本単元に出てくる「You can～ .」の表現や「eat」や「see」の意味を正しく捉えている児童は、全体の*割弱であった。

「ICT用機器があると、学習も進めやすくなると感じますか」という質問項目に対しては、感じると肯定的に答えた児童は*人いたが、*人の児童は操作そのものに魅力を感じており、ICT

機器の有用性に目を向ける児童は学級全体で*割弱であった。また、少数ではあったが、紙への記入の方がよいという児童やICT機器を使いにくいと感じる児童もいた。

(3) 指導観

本学級では、英語で話したり、発表したりといった、自分の考えを伝えることを苦手を感じる児童も多い。これらの児童に対して、学習者用デジタル教科書を、単元を通して活用する。それにより、自分のペースで苦手な英文や英単語の発音を練習し、自信をもって話すことができるようになると考えられる。また、新しいことを知ったり、友達と一緒に活動したりすることに魅力を感じる児童が多いことから、おすすめの国や地域とその理由についてまとめる際には、班でスライドや発表原稿を作成する場面を設定する。それらの活動を通して、それぞれの国や地域のよさを自分たちで調べてまとめ、それを分かりやすく伝える楽しさを味わい、外国語の学習の楽しさを実感できるようにしたい。ICT機器の活用については、音声補助、拡大補助、教科書には載っていないことを調べるなど、必要性を感じるときに使うよう指導していく。

5 単元の指導計画（5時間扱い）

○指導に生かす評価

◎記録に残す評価

次	時	学習内容・活動	知	技	思	態	評価方法・留意点等
1	1	課題 学習の見通しをもち、基本的な表現を知ろう。 ・単元の中で、おすすめの国や地域について、旅行会社の社員としてALTに提案することを確認する。 ・学習者用デジタル教科書の動画やチャンツ※、ペア学習を通して、単語と基本的な表現を知る。	◎				知①：基本的な表現について理解し、読んだり、書いたりしている。 【発言・ワークシート】
	2	課題 世界にはどんな有名な建物や食べ物があるかな。 ・英語の音声を聞き、世界の有名な建物や食べ物について聞き取る。 ・聞き取ったことを学習者用デジタル教科書に書き込み、伝え合う。		○			技①：それぞれの国や地域の有名な建物や食べ物について聞き取り、ペアやグループで分かったことを伝え合っている。 【観察】
	3	課題 世界にはどんな有名な建物や食べ物があるのか英語で表現しよう。 ・英語を書くときには、学習者用デジタル教科書を拡大して正確に書く。 ・英語を発音するときは、学習者用デジタル教科書の動画や、単語の音声を再生して練習する。				○	態①：それぞれの国や地域の有名な建物や食べ物を英語で表現しようとしている。 【観察・ワークシート】
2	4	課題 ALTに、夏休みの旅行先としておすすめしたい国や地域を決め、その国のよさを調べよう。 ・班ごとにおすすめしたい国や地域を選択し、有名な建物や食べ物を調べる。 ・必要な建物や食べ物の写真を集め、スライドを作る。				○	態②：おすすめしたい国や地域を決め、その有名な建物や食べ物について協力して調べ、外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。 【ワークシート・スライド】

※チャンツ…英語の自然な発音やイントネーションを身につけるために、リズムに合わせて単語や文を繰り返す学習方法

次	時	学習内容・活動	知	技	思	態	評価方法・留意点等
2	5	課題 A L Tに おすすめしたい国や地域のよさを英語で表現しよう。 ・前時に作ったスライドを基に、基本的な表現を用いて、おすすめしたい国や地域の有名な建物や食べ物の提案文を作る。 ・英語を書いたり、読んだりするときは、学習者用デジタル教科書を使って正確に書いたり発音したりする。			◎		思①：おすすめしたい国や地域の有名な建物や食べ物について、基本的な表現を用いて表すことができる。【ワークシート】
	6	課題 A L Tに正しく伝えられるよう発表練習をしよう。 ・前時までに作ったスライドや提案文を基に、他班の人に対して発表したり、質問をし合ったりする。 ・発表練習を通して、必要に応じて、提案文を追加したり、削除したりする。 ・英語を書いたり、読んだりするときは、学習者用デジタル教科書を使って正確に書いたり発音したりする。			◎		思①：おすすめしたい国や地域の有名な建物や食べ物について、他者に分かりやすく伝える方法を考えている。 【ワークシート】
	7	課題 A L Tに夏休みの旅行先としておすすめしたい国や地域を提案しよう。 ・学習者用デジタル教科書を使って、発表の最終確認をする。 ・班ごとに発表をし、質問に対して答える。 ・発表している内容を聞き取り、必要に応じて質問する。		◎			技①：基本的な表現を用いて、おすすめしたい国や地域の有名な建物や食べ物について、発表している。 【発表】
3	8	課題 世界遺産について考えよう。 ・世界遺産について考え、世界と日本について、気付いたことや考えたことを発表する。				◎	態②：世界遺産について考え、世界の文化に対する理解を深めている。 【発表・ワークシート】

6 本時の学習

(1) 目標

おすすめしたい国や地域の有名な建物や食べ物について、友達と協力しながら英語で表現することができる。
(思考力、判断力、表現力等)

(2) 資料・準備物

Picture Dictionary、ワークシート、タブレット端末（学習者用デジタル教科書）、電子黒板、紙面掲示物、プリント（ヒント用）

(3) 展開

時間	学習活動・内容	指導上の留意点 ○個への対応 ☆ICTの活用 ㊦評価
0	1 あいさつをする。	・明るく元気にあいさつをし、楽しい雰囲気にする。
1	2 ウォームアップする。 ・曜日、日付、天気の確認をする。 ・メトロラーニングを行う。	○曜日、日付、天気のスぺルに自信がない児童は、学習者用デジタル教科書を見てもよいよう指示する。 ・今日使う言語材料をリズムよく発音して、自信をもって活動に取り組めるようにする。

時間	学習活動・内容	指導上の留意点 ○個への対応 ☆ICTの活用 ㊦評価
	・Small Talk を行う。	○Small Talk を行う前にALTの音声を各自で聞き、正確な発音ができるよう配慮する。
8	3 本時の学習課題を知る。 課題 ALTにおすすめしたい国や地域のよさを英語で表現しよう。	・本時のめあてや授業の流れを確認し、児童が見通しをもって活動に取り組めるようにする。 ・例文を英語・日本語の両方で確認し、どんな文を作ればよいのか想像できるようにする。
学習課題 どんな表現を使えば、ALTに自分のおすすめしたい国や地域のよさを伝えられるだろうか。		
13	4 本時の活動に取り組む。 (1) 班の友達と役割分担して、前時に作ったスライドをグループで見ながら説明するのに使えるような英単語を学習者用デジタル教科書を使って挙げていく。 (2) 例文を基に、(1) で挙げた英単語を使って、班の友達と説明文を作る。 〈予想される児童の反応〉 ・ピザは食べ物だから eat を文にしよう。 ・see の前には、can をつけるといいね。 ・「かっこいい」って何て言えばいいんだろう。 〈予想される児童の文例〉 America is a nice country. You can see the Statue of Liberty. You can eat big hamburger. It's delicious! (3) 学習者用デジタル教科書の音声機能を使用し、正確な発音ができるよう練習する。 (4) いくつかの班に作成した説明文を発表してもらい、全体で共有する。	・日本語でどんな言葉を伝えたいかを決めてから、英単語を探すと探しやすいことを助言する。 ・1人だと不安な児童には、ペアや班で調べてもよいことを伝える。 ○不具合のある端末がある場合には、予備機を貸し出す。 ☆学習者用デジタル教科書には、載っていない英単語を使いたい場合は、Google 検索で調べるよう助言する。 ☆英単語を探せない時は、学習者用デジタル教科書で該当ページを教えるとともに、しおり機能を使用して後からも検索しやすいようにする。 ○全く英文が浮かばない時は、穴埋めプリントを渡し、英文を考える一助にする。 ○(3) まで終わってしまった時は、もっと違う英文でも表現できないかを考え、よりよい説明文にするよう助言する。 ㊦おすすめしたい国や地域の有名な建物や食べ物について、基本的な表現を用いて表すことができる。【ワークシート】
35	5 まとめをする。 You can ～. や It's ～. を使うと、おすすめしたい国や地域のよさを伝えられる。	・今日の授業でよく使った表現は何かを問い、児童から出てきた言葉をつないで、まとめを行う。
40	6 振り返りをする。 ワークシートに、今日の学習で学んだことやできるようになったこと、がんばれたことなどを書く。	・課題を中心に振り返るよう指示する。 ○早く書き終わった児童の発表を聞き、書くことにつまずいている児童が参考にできるようにする。
45	7 終わりのあいさつをする。	・次時は、他の班に伝える活動を通して、もっとよい説明ができるようにしていくことを伝え、学習のつながりを意識できるようにする。